

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東  
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安井 哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 大越 祐史 (TEL) 045-476-9706  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	8,632	△19.6	△259	—	△237	—	△196	—
2018年12月期第3四半期	10,730	24.7	633	—	660	—	419	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △164百万円( —%) 2018年12月期第3四半期 276百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△17.58	—
2018年12月期第3四半期	37.19	36.94

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	20,089	14,436	70.9
2018年12月期	20,980	14,749	69.6

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 14,244百万円 2018年12月期 14,605百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2019年12月期	—	5.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△10.0	200	△79.2	250	△75.8	160	△76.9	14.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期3Q	12,200,000株	2018年12月期	12,500,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,032,586株	2018年12月期	1,334,136株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期3Q	11,166,899株	2018年12月期3Q	11,269,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
(追加情報)	P. 11
3. その他	P. 11
(ご参考資料)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (事業環境)

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、人手不足を背景とした良好な雇用環境の改善を受けまして、個人消費が順調に回復している一方で、世界景気の勢いの弱さから、輸出に力強さを欠き、特に製造業では設備投資に減少傾向がみられました。また企業収益は、堅調な内需に支えられ、高水準を維持しておりますが、米中貿易摩擦問題、中国景気の減速など、先行きに対する不安を抱えた中で推移いたしました。

## (受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、当第3四半期連結累計期間の受注高は、特注試験装置及びサービスが好調に推移したことから、110億5千9百万円（前年同期比8.0%増）となりました。売上高は、期首受注残高が大幅に減少していたこと、特注試験機におきまして、当四半期連結累計期間内に納期を迎える案件が少なかったこと、計測機器におきまして、第2四半期まで続いておりましたお客様の様子見の影響を受けた減速を取り返すには至らなかったことにより、86億3千2百万円（前年同期比19.6%減）となりました。また、これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は77億6千6百万円（前年同期比30.7%増）と大幅に増加いたしました。

## (損益の状況)

損益面は、全社を挙げて業務効率、及び原価率の改善へ向けた取組みを実施しました結果、売上原価率は52.9%（前年同期は53.8%）と、改善することができました。販売費及び一般管理費は、研究開発を精力的に進めながら、同時に費用の削減にも取り組んだ結果、前年同期に比べ1百万円の減少となりました。ただし、売上高減少の影響が大きく、営業損失は2億5千9百万円（前年同期は6億3千3百万円の営業利益）、経常損失は2億3千7百万円（前年同期は6億6千万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億9千6百万円（前年同期は4億1千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社では当連結会計年度からの3ヶ年を第2期（「Challenge Stage II」）とする、中期経営計画を策定致しました。詳細につきましては、2019年1月29日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。（当社ホームページ <https://www.onosokki.co.jp>）

セグメント別の業績は、次の通りであります。

## &lt;計測機器&gt;

「計測機器」は、上期に投入いたしました新商品でありますモータ試験装置や、お客様の研究開発向けに使用されております音響関連商品、レーザ関連商品など、当社の独自性が高い商品群におきまして、下期に入り堅調に推移しております。しかし、年初より生産関連商品群や、海外生産ライン向けなど、特に高額案件で様子見傾向が想定以上に強い中で推移いたしました結果、受注高は35億5千5百万円（前年同期比8.3%減）、売上高は34億8千4百万円（前年同期比5.5%減）となりました。また、セグメント利益は研究開発費の増加などの影響を受けまして、8千1百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

## &lt;特注試験装置及びサービス&gt;

「特注試験装置及びサービス」は、お客様の設備投資機運が高まり、特に車両電動化へシフトする投資が堅調に推移しております。また、既存の設備を改造し、新たな開発において活用する事例が増加しており、その要望に対応した結果、受注高が74億9千4百万円（前年同期比18.0%増）と大幅に増加いたしました。売上高は、お客様の決算期末へ向けて製造に注力し、確実に売上へと結びつけることができましたが、期首の受注残高が減少していた影響が大きく、51億3千8百万円（前年同期比27.0%減）となり、セグメント損失は3億4千1百万円（前年同期は1億7千4百万円のセグメント利益）となりました。

## &lt;その他&gt;

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は1億1千9百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は1千5百万円（前年同期比21.6%増）となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は9百万円（前年同期比7.0%減）であります。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

## 受注実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	3,877	3,555	△322	△8.3
特注試験装置及びサービス	6,350	7,494	1,143	18.0
その他	120	119	△0	△0.7
(調整額)(注)1	△110	△110	0	—
合計	10,238	11,059	820	8.0

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 売上実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	3,686	3,484	△202	△5.5
特注試験装置及びサービス	7,033	5,138	△1,895	△27.0
その他	120	119	△0	△0.7
(調整額)(注)1	△110	△110	0	—
合計	10,730	8,632	△2,098	△19.6

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 営業利益実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	456	81	△374	△82.2
特注試験装置及びサービス	174	△341	△516	—
その他	12	15	2	21.6
(調整額)(注)1	△10	△14	△3	—
合計	633	△259	△892	—

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は200億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9千1百万円減少しました。主な内訳は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の増加であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は56億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千9百万円減少しました。主な内訳は、未払法人税等の減少、賞与引当金の増加、前受金の増加、長期借入金の一部返済による減少であります。

## (純資産)

純資産は144億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千2百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失による減少、配当金の支払による減少であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億5千7百万円減少(△16.7%)し、17億8千万円となりました。

当第3四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## 〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億7千9百万円の収入となりました。主な内訳は、売上債権の減少額13億3千9百万円、たな卸資産の増加額3億1百万円、法人税等の支払額4億4千2百万円であります。

前年同四半期と比較すると、10億2千1百万円の収入の減少(△60.1%)となりました。

## 〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3千8百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億8千2百万円、無形固定資産の取得による支出1億3千4百万円であります。

前年同四半期と比較すると、1億2千9百万円の支出の増加(41.8%)となりました。

## 〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億7千5百万円の支出となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出3億8千5百万円、配当金の支払額1億8千9百万円であります。

前年同四半期と比較すると9億9千4百万円の支出の減少(△63.3%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、特注試験装置及びサービスの受注は好調に推移したものの、売上高につきましては、期首受注残高が大幅に減少していたこと、そして、特注試験機におきまして、当連結累計期間内に納期を迎える案件が少なかったこと、および計測機器におきまして、第2四半期までが様子見傾向であったことなどにより、当初の予想を大きく下回ることとなりました。損益面では、全社で原価率改善の取組みを継続し、また販売費及び一般管理費は、研究開発を精力的に進めながら費用の削減にも取り組みましたが、売上高減少の影響が大きく、営業損失となりました。

通期業績につきましては、特注試験装置は受注が好調であるものの、翌期の売上となる案件が多いことから今期業績への貢献は限られます。また、計測機器については下期に入り改善傾向が見られ、今後は回復すると期待されるものの、上期の減少分を補うには至りません。損益面におきましては、コストダウンの徹底を図るものの、売上高減少による粗利益減少の影響が大きいこと、また販売費及び一般管理費については、将来に向けた研究開発活動は継続することから減益と予想しております。

今後につきましては、今期の受注好調による受注残高の増加を受け、改善するものと予想しております。新規受注の獲得に注力するとともに、計測機器の販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、予想の達成に注力してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,138	1,780
受取手形及び売掛金	3,045	1,912
商品及び製品	524	533
仕掛品	1,324	1,556
原材料及び貯蔵品	542	601
その他	68	288
流動資産合計	7,644	6,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,952	3,878
土地	5,917	5,917
その他（純額）	774	822
有形固定資産合計	10,644	10,618
無形固定資産	629	588
投資その他の資産		
投資有価証券	1,066	1,112
繰延税金資産	670	750
その他	324	344
投資その他の資産合計	2,062	2,208
固定資産合計	13,335	13,415
資産合計	20,980	20,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	391	459
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	414	414
未払法人税等	317	11
賞与引当金	66	272
その他	1,014	846
流動負債合計	3,203	3,004
固定負債		
長期借入金	856	471
退職給付に係る負債	1,981	1,983
その他	189	193
固定負債合計	3,027	2,648
負債合計	6,231	5,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	6,912	6,253
自己株式	△1,211	△937
株主資本合計	14,635	14,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	68
為替換算調整勘定	△21	△40
退職給付に係る調整累計額	△43	△34
その他の包括利益累計額合計	△30	△6
新株予約権	73	114
非支配株主持分	70	78
純資産合計	14,749	14,436
負債純資産合計	20,980	20,089

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,730	8,632
売上原価	5,768	4,563
売上総利益	4,962	4,068
販売費及び一般管理費	4,329	4,327
営業利益又は営業損失(△)	633	△259
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	25
賃貸収入	41	24
その他	19	23
営業外収益合計	84	73
営業外費用		
支払利息	8	5
売上割引	21	19
支払手数料	6	8
賃貸収入原価	9	7
その他	10	11
営業外費用合計	56	52
経常利益又は経常損失(△)	660	△237
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	656	△237
法人税、住民税及び事業税	290	47
法人税等調整額	△71	△94
法人税等合計	218	△46
四半期純利益又は四半期純損失(△)	437	△191
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	419	△196

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	437	△191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	34
為替換算調整勘定	△10	△16
退職給付に係る調整額	28	8
その他の包括利益合計	△160	26
四半期包括利益	276	△164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	△172
非支配株主に係る四半期包括利益	18	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	656	△237
減価償却費	556	580
株式報酬費用	42	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	265	206
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	15
受取利息及び受取配当金	△23	△26
支払利息	8	5
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	4	0
売上債権の増減額(△は増加)	176	1,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	△107	△301
仕入債務の増減額(△は減少)	210	70
未払消費税等の増減額(△は減少)	109	△179
その他	△93	△412
小計	1,810	1,102
利息及び配当金の受取額	23	26
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△121	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,700	679
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△183	△282
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△131	△134
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
保険積立金の解約による収入	23	—
その他	△16	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△309	△438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500	—
長期借入金の返済による支出	△700	△385
自己株式の純増減額(△は増加)	△200	△0
配当金の支払額	△169	△189
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,570	△575
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188	△357
現金及び現金同等物の期首残高	1,962	2,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,773	1,780

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、2019年3月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年3月20日に自己株式300,000株を消却いたしました。主にこの影響により、当第3四半期連結会計期間における自己株式は、1,032,586株、9億3千7百万円となりました。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,686	7,033	10,720	10	10,730	—	10,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	110	110	△110	—
計	3,686	7,033	10,720	120	10,841	△110	10,730
セグメント利益	456	174	631	12	643	△10	633

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△10百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,484	5,138	8,622	9	8,632	—	8,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	110	110	△110	—
計	3,484	5,138	8,622	119	8,742	△110	8,632
セグメント利益又は損失(△)	81	△341	△260	15	△244	△14	△259

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が9月30日であるOno Sokki(Thailand)Co.,Ltdについては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るために、第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これに伴い当該子会社の業績については2018年10月1日から2019年9月30日までの12ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。なお、この変更による影響額は軽微であります。

## 3. その他

(ご参考資料)

## 主要な経営指標等の推移

回次	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	(参考)	対前期 増減値	対前期 増減率 (%)
決算年月	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/9	2018/9		
受注高(百万円)	13,779	11,247	13,897	13,346	11,059	10,238	820	8.0
売上高(百万円)	13,333	13,133	12,077	14,440	8,632	10,730	△2,098	△19.6
営業利益 (百万円)	468	361	182	962	△259	633	△892	—
売上高営業利益率 (%)	3.5	2.8	1.5	6.7	△3.0	5.9	△8.9	—
経常利益 (百万円)	650	397	214	1,032	△237	660	△898	—
売上高経常利益率 (%)	4.9	3.0	1.8	7.1	△2.8	6.2	△8.9	—
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)	412	235	198	692	△196	419	△615	—
売上高当期(四半 期)純利益率(%)	3.1	1.8	1.6	4.8	△2.3	3.9	△6.2	—
純資産額 (百万円)	15,084	14,501	14,811	14,749	14,436	14,761	△312	△2.1
総資産額 (百万円)	22,131	21,493	21,492	20,980	20,089	21,225	△891	△4.2
自己資本比率(%)	67.9	67.3	68.5	69.6	70.9	68.9	1.3	—
自己資本利益率(%)	2.7	1.6	1.4	4.7	△1.4	2.9	△4.2	—
1株当たり純資産額 (円)	1,266.51	1,269.03	1,292.29	1,308.01	1,275.51	1,309.07	△32.50	△2.5
1株当たり当期(四 半期)純利益金額 (円)	33.60	20.22	17.39	61.57	△17.58	37.19	△54.77	—
営業活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	638	910	△36	1,901	679	1,700	△1,021	△60.1
投資活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	△952	△664	△265	△484	△438	△309	△129	41.8
財務活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	△715	△175	152	△1,224	△575	△1,570	994	—
現金及び現金同等物 の期末残高(百万円)	2,063	2,103	1,962	2,138	1,780	1,773	△357	△16.7
設備投資額 (百万円)	618	638	254	500	518	352	166	47.4
減価償却費 (百万円)	724	757	777	758	580	556	23	4.3
研究開発費 (百万円)	1,678	1,488	1,465	1,329	979	963	16	1.7

## セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 2Q	2019年 3Q
受注高	計測器	1,243	1,324	1,350	1,267	1,259	1,422	1,206	1,033	1,315
	特注試験装置	3,598	1,667	1,760	2,097	2,492	1,682	2,497	2,696	2,300
	その他	60	61	40	41	39	39	39	41	39
	合計	4,844	2,995	3,113	3,370	3,754	3,107	3,706	3,733	3,618
受注残高	計測器	594	394	382	501	585	652	380	577	723
	特注試験装置	6,312	6,039	4,720	4,820	5,355	4,686	4,508	6,067	7,042
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	6,907	6,433	5,102	5,321	5,941	5,339	4,889	6,644	7,766
売上高	計測器	1,174	1,524	1,362	1,148	1,175	1,355	1,478	873	1,132
	特注試験装置	872	1,941	3,078	1,998	1,956	2,351	2,675	1,137	1,324
	その他	60	61	40	41	39	39	39	41	39
	合計	2,050	3,469	4,444	3,151	3,134	3,709	4,157	2,015	2,459
利益	計測器	71	492	340	66	50	139	316	△254	19
	特注試験装置	△383	△43	469	△123	△170	190	344	△479	△207
	その他	9	11	2	6	3	5	4	6	4
	合計	△310	448	809	△56	△120	329	662	△733	△187

## 前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 2Q	2019年 3Q
受注高	計測器	115	173	2	203	16	97	△144	△234	56
	特注試験装置	1,520	△65	194	24	△1,106	14	736	598	△192
	その他	0	0	△18	△21	△20	△21	0	△0	0
	合計	1,636	107	196	228	△1,089	112	593	363	△136
受注残高	計測器	117	71	43	△24	△8	258	△1	75	138
	特注試験装置	2,085	1,749	1,787	1,233	△956	△1,352	△212	1,247	1,687
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	2,202	1,820	1,830	1,208	△965	△1,093	△213	1,323	1,825
売上高	計測器	101	218	30	271	0	△169	115	△274	△43
	特注試験装置	△630	271	156	579	1,083	410	△402	△860	△631
	その他	0	0	△18	△21	△20	△21	0	△0	0
	合計	△529	489	186	851	1,084	240	△286	△1,136	△675
営業利益	計測器	21	303	△137	396	△21	△352	△23	△320	△30
	特注試験装置	△5	70	290	158	212	234	△124	△355	△36
	その他	4	2	△7	△6	△6	△6	2	△0	0
	合計	15	373	153	554	190	△118	△147	△677	△67

(注) 上記金額はセグメント間取引消去を含んでおりません。